

# 年 頭 所 感

あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、皆様に所信を申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和4年もコロナ禍の影響が続きましたが、本年はようやくマスクを外せる年になると思います。一方でお客様にとっては様々な支援策が徐々に終了し、すぐに売上がコロナ前の状況に戻る事業も少なく、電力料金等資源価格の高騰もあって引き続き厳しい状況にある方も多いと考えます。当金庫は資金繰り支援とともに補助金申請支援などの本業支援に注力し、物心両面の支えになるべく努力を継続した一年でした。改めて役職員の努力に感謝するとともに、引き続き地域において一番に頼りにされる存在でありたいと念じている次第です。「疾風勁草」

まず事業先に対しては創業支援、販売促進支援、事業承継、事業再生等の本業支援機能の強化に努めるとともに、そのサービスの対価として貸出金利や手数料等を確保し、持続可能なビジネスモデルの構築を図ります。特に事業承継、再生に関しては、当該のお客様のみならず、地域の重要なネットワーク（取引先、従業員、顧客）が失われる危険性があり、他の機関との連携を図りながら重点的に対応する必要があります。

## 「お金をお貸しする前に知恵をお貸しする」

次に個人を含むすべてのお客様に対し顧客本位の業務運営を確立し、各種セミナーを通じNISA や iDeCo 等によるお客様の資産形成のお手伝いをする提案「人生100年カレンダー」や、社員の福利厚生を高める提案、キャッシュレス社会に対応するサービスの提供を行います。

## 「あんがと営業」

また、地域のデジタル化の進展に対し「ケイエール（法人向けのポータルサイト）」の活用を含め、顧客チャネルの多様化と金融サービスの充実など急速に進展するデジタルイゼーションへの対応は「金融変革期」において当金庫がスピード感を持って取り組むべき大きな課題です。こうした新たなビジネスモデルの構築は短期間で達成できるものではなく、自ら創意工夫して金融仲介機能とそれに付加する業務を時間かけて着実に進化させていく心構えが不可欠です。

世の中は気候変動や地政学的リスクも含めて極めて見通しにくい時代（VUCA、不確実性の時代）です。金庫もGX（「信用金庫はグリーンに一番近い金融機関」）やカーボンニュートラルに取り組み、地域社会の課題に対し、皆が各々の立場で考え、行動することが必要です。

## 「森を育てる」

以上に取り組むためには、お客様との間のもとより、金庫内の役職員のコミュニケーションも十全に図り、現状認識や問題意識を共有することが必要です。そのうえで「金庫を自分たちが主体的に運営している」「地域を私たちが支えている」という意識を持つことが重要です。

また、営業店をサポートする本部も、引き続き人員と業務のバランスを調整するとともに、職員の自己啓発を支援し、職員の意欲・能力の向上につながるよう努力しなければなりません。

## － 理事長からのメッセージ －

管理面では金利の上昇の可能性を踏まえた資金の効率的運用とリスク管理や業務運営の効率性向上を目指すBPR、業務や組織、店舗網の見直しなど将来を見据えたヒト・モノ・カネの経営資源の再配置の検討を確実に進める必要があります。地域の労働力不足の進行や金庫の人員の状況を見据え、生産性向上のための業務改革（デジタルイゼーションからDX）を促進し、インボイスを含め適切な対応が必要です。事務効率化に伴い生産性の向上を図り、経費の削減を確実なものにします。

本年は、ゼロゼロ融資の利子負担や元本返済が本格化する年に当たります。必要なお客様には各種制度を活用しながら資金繰り支援を行うとともに一方で厳格な審査、自己査定の実施、本業支援を含む適切な伴走支援体制をとりつつ債権管理など不確実な状況に合わせた迅速な対応をとることが必要です。

また以上の根底には、マネロン対応を含む法令等遵守に基づく適切な業務運営や様々なリスク管理体制の構築が必要であることは言うまでもありません。

役職員の皆様には以上のことを十分に理解され、信用金庫としての原点と使命を胸に刻み、主体性と自律性を持って、心ひとつに取り組まれることを希望します。

こうした認識のもとスタートする令和5年は、そのメインテーマを

### 信用金庫としての原点回帰と新しい金庫像の創造2 ～ 基本理念の保持と進取の精神 ～

と定め、次の基本方針を掲げることといたしました。

#### 地域とお客様と金庫の持続可能性の追求

1. 金庫の活動に対し会員、お客様、地域からの共感を得られるように努める。
2. 事業価値の向上に向けた支援を通じ、地域の稼ぐ力の維持・伸長とともにSDGsの普及啓発を図り、理念に従って行動することで地域の持続可能性の向上に寄与する。
3. エンゲージメントの増強を図り、職員自らの成長意欲と仕事に対する熱意を醸成する。
4. 経費の削減と非資金利益獲得の強化および適切な債権管理に努める。
5. 全金庫的な法令等遵守態勢の確立とリスク管理態勢の高度化を図る。

本年が、役職員とご家族の皆様にとりまして、幸福で最良の年であるとともに未来への希望の年となりますよう心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

令和5年1月4日

理事長 鈴木正俊